

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピース和田町		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 16
○従業員評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己決定支援	活動、好きなおやつを選べるように、選択する機会を多数用意。支援計画にも反映して取り組んでいる。 絵カードを要いて段階的に、コミュニケーションスキルの向上を図り、自己決定に繋げていく。	自己決定支援の外部研修に参加し、様々な支援方法を支援にフィードバックしていく。
2	社会経験を育む活動を多く取り入れている	学校の長期休暇中は公共交通機関を利用した外出、県外への外出。ショッピングモールやスーパーへのお買い物活動を積極的にしている。	公共交通機関を日常的に利用する経験ができるように、通常活動時にも導入できるようにする。

3	事業所からの情報発信	3カ月毎にピースだよりを配布、日々の活動の写真を多く見ていただく機会を作っている。 Instagramにて活動報告を行っている。 年に1回、活動中の写真を配布している。	ご家族向けの研修や講演会の情報提供。 写真だけでなく、データでお渡しできるような設備を整える。
---	------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足 現状の活動プログラム、送迎コースを考えると人員不足で職員1人1人への負担が大きくなっている。	募集を行っているが、応募がほぼない現状がある。	法人本体と協力し、継続して募集を行っていく。
2	保護者への説明	事業所としては十分にできていると考えていたが、複数の設問にわからない・どちらとも言えないと言ったチェックが見られた。 様々な説明、引継ぎなどで、不十分な箇所があると思われる。	現状の送迎時の引継ぎ、面談、連絡帳以外にも、電話等で密なコミュニケーションを図れるようにする。 個別支援面談以外の面談も、ご家族のご希望があれば常にできる事を再度周知していく。
3	職員間での情報共有ができていないことがある。	学校送迎時間や方法など情報共有ができておらず、送迎ミスにつながる事があった。 活動内容が周知しきれず、その場で職員間で説明をする事があった。	ホワイトボードを活用し、引継ぎ事項を記載しパート職員でも見やすい周知方法を模索していく。